

地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和2年6月26日)

[件名]

- 1 島根原子力発電所2号機の新規制基準適合性審査の状況等について
(第65報)

(原子力安全対策課) … 1

危機管理局

島根原子力発電所2号機の新規制基準適合性審査の状況等について（第65報）

令和2年6月26日

原子力安全対策課

平成25年12月25日に申請が行われた島根原子力発電所2号機並びに平成28年7月4日に申請が行われた同2号機に係る特定重大事故等対処施設及び所内常設直流電源設備（3系統目）に係る原子力規制委員会の新規制基準適合性審査会合の状況等は次のとおりです。

1 島根原子力発電所2号機に係る審査会合

回数(開催日)	議題	主な説明内容及び審査状況
156回目 (6月9日)	【重大事故対策】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発生の可能性は極めて低いが発生した場合の影響が甚大である重大事故に対応するよう要求されており、中国電力は、重大事故の想定及びその事故を収束させるための重大事故対策について、これまでの審査会合における指摘事項に回答した。 ○ 重大事故の想定については、審査が終了したが、重大事故対策に関する指摘は残っており、審査は継続。
157回目 (6月16日)	【設計基準 事故対策】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 火災や航空機落下事故、竜巻等の外部からの熱や衝撃等によって安全機能を失わないような対策や燃料プールの水位低下への対策が要求されており、中国電力は、これまでの審査会合での以下の項目に対する指摘事項に回答した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 建屋内の火災対策 ・ 航空機落下事故による火災対策 ・ 竜巻対策 ・ 燃料プールの水位や水温の把握手法 等 ※ 建屋内の火災対策以外の審査は一度終了していたが、一部変更があったため、再度審査を行ったもの。 ○ 竜巻対策に関しては、再検討するように指摘があり、審査は継続。
158回目 (6月19日)	【地震・津波 関係】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発電所内の原子炉建物等の基礎地盤及び敷地内の斜面における地震への安定性について評価し、想定される地震でも地盤の安定性が確保され、原子炉建物、防波壁等の発電所内の施設が影響を受けないことを説明した。 ○ 評価、分析等に係る説明、根拠資料等の充実化を求められ、審査は継続。

2 特定重大事故等対処施設及び所内常設直流電源設備（3系統目）に係る審査会合

* 前回の報告（平成28年9月15日）以降の審査会合

回数（開催日）	議題	概要
開催なし		* 直近は平成28年9月13日の1回目

島根原子力発電所2号機の新規制基準適合性審査の進捗状況（ゴシック網掛け:審査済）

項目			審査状況	
地震・津波関係	地質	敷地の地質・地質構造	審査済	
		敷地周辺の地質・地質構造	審査済	
	地震	地下構造	審査済	
		震源を特定して策定する地震動	審査済	
		震源を特定せず策定する地震動	審査済	
		基準地震動	審査済	
	津波	地震による津波	審査済	
		地震以外による津波	審査済	
		基準津波	審査済	
	地盤・斜面の安定性			審査中
火山事象			審査中	
プラント	耐震設計		審査中	
	耐津波設計		審査中	
	設計基準事故対策	外部事象	竜巻	審査中
			火山	審査中
			外部火災	審査済
			その他自然現象	審査中
		内部火災	審査済	
		内部溢水	審査済	
		安全施設等	審査中	
	重大事故対策	有効性評価	炉心損傷防止	審査中
			格納容器破損防止	審査中
			燃料プールの燃料破損防止	審査済
			停止時の燃料破損防止	審査済
			事故シーケンスの選定	審査済
			解析コード	審査中
		設備・手順	停止失敗時未臨界確保	審査中
			炉心冷却（高圧冷却、減圧等）	審査中
			最終ヒートシンク	審査中
			格納容器（冷却、過圧破損防止等）	審査中
			水素対策（格納容器、原子炉建屋）	審査中
			使用済燃料プール	審査中
			緊急時対策所	審査中
			その他（監視装置、通信連絡等）	審査中
大規模損壊			未審査	
技術的能力			未審査	

〔年度別審査会合数〕 H25:4回、H26:36回、H27:32回、H28:11回、H29:7回、H30:12回、R1:43回、
R2:7回